

第5学年 外国語活動学習指導案

日 時 平成30年11月16日(金) 2校時

対 象 5年2組(男子14名、女子15名)

月 組(男子1名) 合計30名

授業者 祐川 春美

A L T Riley Dee Jones

特別支援学級児童支援 申賀 謙一郎

1. 単元名 She can run fast. He can jump high. できること (We Can! 1 Unit 5)

2. 単元について

本単元は、"can"をテーマとする。できることやできないことを尋ねたり答えたりするやり取りを通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や、相手に対しての理解を深めようとする意欲を高めていく必要があると考える。一人一人はいろいろな面で違って、人によってできることもあればできないこともある。また、いろいろなやりとりをする中で、クラスの友達の意外な一面を知ったり、自分との違いや共通点に気付いたりすることもある。新たな視点で友達を見ることで、さらにコミュニケーションが深まると考えられる。

そこで、本単元では、He/She can～の三人称を用いて他者のことを伝える表現を扱い、学級の友達について紹介する活動を設定した。聞き手を意識しながら、初歩的な英語で伝えることができるようにすることが主なねらいである。これまでの児童は一人称と二人称のみで思いを伝え合ってきた。初めて三人称に出会うことで理解しづらい面もあると考えられる。そこで、三人称の意味や使い方を自然に捉えられるように、場面設定を工夫し、丁寧に扱っていきたい。

3. 児童について

本学級では英語の学習に意欲的に取り組む児童が多く、全体的にA L Tとの外国語活動をいつも楽しみにしている。日常生活でも英語に触れる機会を増やすために、朝や帰りの会では簡単な英語で挨拶をしたり、今日の調子を聞いて答えたり、英語の歌を歌ったりする活動を行っている。

本年度より教科型を意識した外国語活動においては、A L Tと共に、歌やジングル、チャンツ、アルファベットを書くことや、学んだ表現を使った簡単な会話などの活動に積極的に取り組んできた。しかし、中には英語表現に自信を持たない児童が見られる。また、活動の中では、やり取りをする児童に偏りがあったり、情報を伝えるだけで相手とのコミュニケーションを意識できていなかったりする児童もいる。そこで、相手意識を持たせるため“Eye contact”“Clear voice”“Smile”“Gesture”“Listen carefully”の5つを意識させるようにしている。

本単元では、ペアワークやグループワークの活動を積極的に取り入れる。個々の活動場面を多くすることで、英語表現に自信を持たせることにつながると思われる。また、活動に目的意識を持たせ、英語でコミュニケーションする楽しさと、友達のことを知る楽しさを味わわせたい。

4. 単元の目標 (現：現学習指導要領、新：新学習指導要領)

- ・自分や第三者について、できることやできないことを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(現：音声や表現への慣れ親しみ、新：知識及び技能)
- ・自分や第三者について、できることやできないことを進んで紹介し合おうとする。
(現：コミュニケーションへの関心・意欲・態度、新：思考力、判断力、表現力等)
- ・言語や人には、それぞれに違いがあることに気付く。
(現：言語や文化に関する気付き、新：学びに向かう力、人間性等)

5. 言語材料

- Can you(sing well)? Yes, I can./No, I can't.[I/You/He/She][can/can't](sing well).
- 動作 (play [the recorder/the piano], ride a[bicycle/unicycle], swim, skate, ski, cook, dance, run fast, jump high, sing well), can, can't, he, she, Mr., Ms., net, omelet
[既出]スポーツ、動作、日課、not

6. 単元の評価基準 (移行期)

観 点	評 価 規 準	方 法
言語や文化に関する気付き【気】	言語や人にはそれぞれに違いがあることに気付いている。	行動観察 振り返りカード
コミュニケーションへの関心・意欲・態度【コ】	自分や第三者についてできることやできないことを進んで紹介し合おうとしている。	行動観察 振り返りカード 記述観察
音声や表現への慣れ親しみ【慣】	自分や第三者について、できることやできないことを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。	行動観察 振り返りカード 記述観察

* 関連する学習指導要領における領域別目標 (新学習指導要領)

聞くこと	イ ゆっくりはっきり話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (やり取り) 話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

7. 単元計画 (6時間扱い 本時5/6)

時間	目標	主な活動内容	評価方法とその進め方
1	動作を表す語や「できる」「できない」という表現が分かる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talk : ALT のできることやできないことを話題にする。 ・ Jingle : Animals Jingle ・ 動作を表す語 ・ Let's Chant : Can you sing well? (オプション1) 	<p>【慣】 自分ができる、できないを表す表現に慣れ親しんでいる。 (行動観察・振り返りカード)</p> <p>【気】 英語の発音と文字</p>

		<ul style="list-style-type: none"> 動物当てクイズをする。 (教師→児童) Writing : “Can you swim?” 	<p>の違いに気付いている。 (行動観察・振り返りカード)</p>
2	動作を表す語や「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> Jingle : Animals Jingle 動作を表す語 Let's Chant : Can you sing well? 動物のできることを伝える。 (児童→児童) Let's Listen1.2 : どの動物のことかを考える。 Writing : “Yes, I can.” 	<p>【慣】 できる、できないという表現に慣れ親しんでいる。 (行動観察・記述観察・振り返りカード)</p>
3	できることやできないことを、尋ねたり答えたりする表現が分かる。	<ul style="list-style-type: none"> Jingle : Animals Jingle 動作を表す語 Let's Chant : Can you sing well? 動物のできることをたずねる。 (児童→児童) Let's Play 2 : ポインティングゲームをする。(動作を表す語) Writing : “I can swim.” 	<p>【慣】 できることやできないことを、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 (行動観察・振り返りカード)</p> <p>【コ】 動作を表す言葉を使って進んで尋ねようとしている。 (行動観察・振り返りカード)</p>
4	第三者の言い方を知り、第三者ができることやできないことの表現が分かる。	<ul style="list-style-type: none"> Jingle : Animals Jingle Small Talk : 三人称代名詞 He/She を使ってアニメキャラクターのできることやできないことを話題にする。 Let's Chant : Can you sing well? (オプション3) Let's Watch and Think 2 : 人物のできることできないことを聞き取る。 キャラクタークイズ : He や She を使ってできることをグループで一つ言う。 Writing : “He can swim.” 	<p>【慣】 第三者ができる、できないを表す表現に慣れ親しんでいる。 (行動観察・記述観察・振り返りカード)</p> <p>【気】 第三者を表す表現に気付いている。 (行動観察・振り返りカード)</p>
5	できることを相手に尋ね、	<ul style="list-style-type: none"> Jingle : Animals Jingle 	<p>【慣】 できることについて</p>

(本時)	それを紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Chant : Can you sing well? ・ Can you ~? I can~. I can't~. の表現を練習する。 ・ 友達にできることをインタビューする。 ・ インタビューで聞き取ったことを、He/She を使ってグループで紹介し合う。 ・ Writing : “Can you ~?” 	<p>て、尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 (行動観察・振り返りカード)</p> <p>【コ】 第三者について、He/ She can ~. を使って、伝え合おうとしている。 (行動観察・振り返りカード)</p>
6	第三者ができることやできないことを、学んだ表現を使って進んで紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ Jingle : Animals Jingle ・ Small Talk : ALT と HRT の尊敬している人物のことができることについて三人称代名詞を用いて話す。 ・ Let's Listen 3 : どの人物かを考える。 ・ Activity 5 : 既習の表現を使って人物紹介をする。自分や先生、友達、キャラクターなどのことができることできないことを発表する。 ・ Writing : “He can ~.” ・ STORY TIME 	<p>【コ】 他者に配慮しながら、ある人物について、できることやできないことを、自分の考えも含めて紹介しようとしている。 (行動観察・記述観察・振り返りカード)</p>

8. 研究仮説と本単元との関わり

[研究主題 主体的に学習に取り組、互いに表現しあえる児童の育成をめざして
～外国語を使って、いきいきとコミュニケーションを図る活動を通して～ (2年次)]

児童が、進んで外国語によるコミュニケーションを図ることができるようにするために

①学習活動の中に発達段階に応じて**段階的に言語活動**を取り入れる。

- ・ コミュニケーションを図るために必要な表現や単語には、ジングルやチャンツ、絵カード、掲示物やスモールトーク等を通して繰り返し触れさせる。そして、既習の表現や本時の活動内容から必要な表現を選択して、コミュニケーションを図ることができるようにする。
- ・ 文字を読む活動や、学習した表現を使ってインタビューしコミュニケーションする活動など、多様な言語活動を単元の中で計画的に取り入れる。
- ・ 単元を通して毎時間少しずつ「書くこと」の言語活動に取り組む。音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、4線上に書く活動を取り入れる。

②必然性のある学習場面を設定する。

- ・「できそうなこと」を予想して質問したり、「できること」や「できないこと」を答えたりするなど、友達を理解する学習内容を意図的に設定し、コミュニケーションに必然性を持たせる。
- ・ペアワークやグループワークで相互にインタビューさせ、「話す」「聞く」の双方向的なコミュニケーション場面を位置付ける。
- ・ペアワークのインタビューから、三人称 He/She の必要性を理解させる。

③ A L T を活用した指導の工夫をする。

- ・ネイティブスピーカーである A L T による “Small Talk” を単元の中で数回取り入れ、既習表現を使ったコミュニケーション場面を設定する。学級担任は授業者として A L T が児童にインプットした英語を調整し、児童と A L T を繋ぐ役割を果たす。
- ・デジタル教材のジングルやチャンツなどでは、児童の実態に即した速さで A L T にモデルを提示させる。

④ 評価方法を工夫する。

- ・言語活動に取り組む中で相手意識を持たせるため、“Eye contact” “Clear voice” “Smile” “Gesture” “Listen carefully” の 5 つを観点として形成的に評価をする。
- ・児童には、授業の最後に本時のねらいに関わる内容について「振り返りカード」に自己評価させて学習を振り返らせる。
- ・H R T は、行動観察、記述観察、振り返りカードにより、「ねらい」の到達状況を評価する。

以上のことにより、児童の学び合う力が育成され、主体的に学習に取り組む態度の高まりに繋がると考える。

9. 本時の活動



(1) Unit 5 She can run fast. He can jump high. できること (5 / 6)

- (2) ねらい
- ・友達にできることを尋ねたり答えたりしている。【慣】
 - ・He/She の表現を使って、友達のできることを紹介し合おうとしている。【コ】
- * できることを尋ねる “Can you ~?” のなぞり書きや動作を表す言葉を書き写している。【書くこと】

(3) 学習過程

時 (分)	主な学習活動	○H R T	●A L T	・留意点 ※評価
3	1 Greeting	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動の始まりの雰囲気を作る。 ・コミュニケーションを支える相手意識を高めるため、
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○● Hello, everyone. ・ Hello, Mr.Riley and Ms.Sukekawa. ● What date is it today? ・ It's Friday, November 16th. ○ Let's start today's English lesson. </div>		

<p>3</p> <p>2 Warming up ・ Animals Jingle</p> <p>3</p> <p>3 Review</p>		<p>・ 児童と一緒に言う。</p> <p>・ 動作のフラッシュカードを提示する。</p>	<p>・ 児童をリードしながら言う。</p> <p>・ リズムに乗って発音する。</p>	<p>“Eye contact” “Clear voice” “Smile” “Gesture” “Listen carefully” (C5)を観点として 形成的に評価する。 ・ これまで学んだ動作などの表現を確かめる。</p>
<p>28</p> <p>4 Today's Goal ・ 本時のめあてをつかむ。</p> <p>・ デモンストレーションを見て、インタビューの仕方を知る。</p> <p>5 Main Activity ・ Let' Chant : Can you sing well?</p>		<p>● Hello, Ms.Sukekawa. How are you? ○ Hello, Mr.Riley. I'm tired. ● Oh no. You should drink coffee. ○ No, I don't like coffee. ● Really? I like coffee. What food do you like? ○ I like omelet. ● Wow. Can you cook? ○ Yes, I can. ● Nice. Can you skate? ○ No, I can't. ● Me, too. Can you sing well? ○ Yes, I can. ● Oh wonderful. Thank you. See you.</p> <p>友達にできることをインタビューし、紹介しよう。</p> <p>Can you run fast? No, I can't. Can you jump high? No, I can't. Can you dance well? No, I can't. Then, can you sing well? Yes, I can. I can sing well and fly high.</p>		<p>・ 会話から何について話しているか考えさせる。</p> <p>・ 課題は日本語で提示し、確認する。</p> <p>・ C5を意識させながら、尋ねる人と答える人の言い方に慣れさせる。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの仕方を全体で練習する。 ・自分のグループ以外の男女にできることをインタビューするように指示する。(ペアワーク) 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの仕方を全体で練習する。 ・C 5を意識して尋ね合うように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューで使う表現を提示する。 ・相手の答えに対して反応するなど望ましいコミュニケーションの取り方を意識させる。 <p>Nice./Wonderful./Me, too./Really?</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションを見て、紹介の仕方を知る。 	<div data-bbox="523 488 1157 862" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ Hello. ・ Can you ~ ? ・ Yes, I can. ・ Can you ~ ? ・ No, I can't. ・ Can you ~ ? ・ Yes, I can. ・ Thank you. See you. </div> <div data-bbox="515 943 1157 1482" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ● Hello, everyone. Please listen to me. Ms.Sukekawa is my friend. She can cook. She can sing well. All right? ○ Hello, everyone. Please listen to me. Mr.Riley is my friend. He can play the piano. He can play soccer. All right? </div>		<ul style="list-style-type: none"> ※できることやできないことについて、尋ねたり、答えたりしていたか。(行動観察)
<ul style="list-style-type: none"> ・グループで紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介の仕方を全体で練習する。 ・インタビューしたことを紹介し合うように指示する。(グループワーク) 	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介の仕方を全体で練習する。 ・児童の様子を見て、C 5を観点としてアドバイスをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ He と She の意識付けをする。 ・紹介で使う表現を提示する。
<div data-bbox="523 1771 1157 2018" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  is my friend. He can ~ . He can ~ .  is my friend. She can ~ . She can ~ . </div>			

				※ He/ She can ～.を使って、 紹介し合おう としていたか。 (行動観察)
3	6 Writing ・本時で使った 表現のなぞり 書きや書き写 しをする。	・“Can you ～?” を4 線ボードに書く。		・ワークシートに なぞり書きを し、動作は絵カ ードを見ながら 使った言葉を書 き写すようにさ せる。 ・語と語の間のス ペースを意識さ せる。 ※ “Can you ～?” ”のなぞり書きや 動作の書き写し をしていたか。 (記述観察)
5	7 Looking back & Greeting ・活動の振り返 りをする。 ・終わりの挨拶 をする。	・振り返りカードに自己 評価させる。 ・指名して発表させる。	・C5について振り返 る。	・学習を振り返 り、自己評価を させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>○ That's all for today. ・ Thank you, Mr.Riley and Ms.Sukekawa. ● Good-bye, everyone. See you next time.</p> </div>				

(4) 評価

- ・友達にできることを尋ねたり答えたりしていたか。(行動観察、振り返りカード)
- ・He/She の表現を使って、友達のできることを紹介し合おうとしていたか。

(行動観察、振り返りカード)

- *できることを尋ねる “Can you ～?” のなぞり書きや動作を表す言葉を書き写していたか。
(記述観察)

(5) 板書計画

Today's Goal				友達にできることをインタビューし、紹介しよう。	
	絵	カ		<ul style="list-style-type: none">• Can you ~?• Yes, I can.• No, I can't.	<ul style="list-style-type: none">• ~ is my friend.• He can ~.• She can ~.
		ード			

ワークシート

Eye contact
Clear voice
Smile
Gesture
Listen carefully